



Time-of-Day ルーティング

Time-of-Day ルーティングでは、コールが発信された時刻に基づいて異なるロケーションにコールがルーティングされます。たとえば、営業時間中にはコールをオフィスにルーティングし、営業時間外にはコールをボイスメッセージシステムまたは自宅の番号に直接送信することができます。

この章の構成は、次のとおりです。

- [Time-of-Day ルーティングの概要 \(P.16-2\)](#)
- [エンドユーザと Time-of-Day ルーティング \(P.16-4\)](#)
- [依存関係レコード \(P.16-5\)](#)
- [参考情報 \(P.16-6\)](#)

Time-of-Day ルーティングの概要

Time-of-Day ルーティングは、管理者が定義してタイム スケジュールにまとめる個々の時間帯で構成されます。管理者は、タイム スケジュールをパーティションに関連付けます。管理者は、[パーティションの設定 (Partition Configuration)] ウィンドウで、発信側デバイスの時間か、タイム スケジュールに固有の任意の時間のいずれかを選択します。このパーティション内の電話番号にコールが発信されると、選択した時間がタイム スケジュールに対してチェックされます。[時間帯] および [スケジュール] メニュー項目は、[コールルーティング] メニューの [コントロールのクラス] サブメニューにあります。[パーティション] および [コーリング サーチ スペース] メニュー項目も、[コントロールのクラス] サブメニューに移動しました。

時間帯

時間帯は、開始時刻と終了時刻で構成されます。指定できる開始時刻および終了時刻は、24 時間制の 00:00 ~ 24:00 の範囲で 15 分間隔です。さらに、時間帯には反復間隔の定義も必要です。反復間隔は、曜日（たとえば、月曜日～金曜日）または月日（たとえば、6 月 9 日）で構成されます。

例

時間帯 *weekdayofficehours* を月曜日～金曜日の 08:00 ~ 17:00 に定義できます。

時間帯 *newyearsday* を 1 月 1 日の 00:00 ~ 24:00 に定義できます。

休業時間で構成される時間帯 *noofficehours* を水曜日に定義できます。このように定義すると、関連付けられているパーティションが水曜日にはアクティブでなくなります。



(注)

時間帯を定義する場合、開始時刻は終了時刻の前である（終了時刻より小さい）必要があります。



ヒント

月曜日～金曜日の 22:00 に開始して翌朝の 04:00 に終了する、日付の変わり目をはさむ期間を定義する場合は、*lateevening*（月曜日～金曜日の 22:00 ~ 24:00）と *earlymorning*（火曜日～土曜日の 00:00 ~ 04:00）のように、2 つの時間帯を作成します。[スケジュールの設定 (Time Schedule Configuration)] ウィンドウを使用して、*lateevening* 時間帯と *earlymorning* 時間帯を結合し、日付の変わり目をはさむ 1 つのタイム スケジュールにします。

管理者は、時間帯を作成した後、時間帯とタイム スケジュールを関連付ける必要があります。

タイム スケジュール

タイム スケジュールは、管理者が関連付ける定義済み時間帯のグループで構成されます。管理者が時間帯を設定すると、その時間帯が [スケジュールの設定 (Time Schedule Configuration)] ウィンドウの [使用可能時間帯 (Available Time Periods)] リスト ボックスに表示されます。管理者は、時間帯を選択して、[選択された時間帯 (Selected Time Periods)] リスト ボックスに追加できます。



(注)

管理者がタイム スケジュールと関連付けるために時間帯を選択した後でも、他のタイム スケジュールと関連付けるためにその時間帯を使用できます。

管理者は、タイム スケジュールを設定した後、[パーティションの設定 (Partition Configuration)] ウィンドウを使用して、発信側デバイスの時間か、定義したタイム スケジュールに固有の任意の時間のいずれかを選択できます。ユーザによってコールが発信されると、選択した時間がタイム スケジュールに対してチェックされます。

Time-of-Day 機能では、CallingSearchSpace 内の各パーティションに定義されている Time-of-day 設定を介して CallingSearchSpace 文字列がフィルタリングされます。

time-of-day ルーティングを設定すると、着信コールの時刻がタイム スケジュール内の時間帯の 1 つに含まれる場合、そのコールのフィルタリングされたパーティション リスト検索にそのパーティションが含まれます。

例

タイム スケジュール *USAholidays* を、時間帯 *newyearsday*、*presidentsday*、*memorialday*、*independenceday*、*laborday*、*thanksgivingday*、*christmasday* のグループとして定義できます。管理者は、まず、適切な時間帯を設定する必要があります。

タイム スケジュール *library_open_hours* を、時間帯 *Mon_to_Fri_hours*、*Sat_hours*、*Sun_hours* のグループとして定義できます。管理者は、まず、適切な時間帯を設定する必要があります。

エンドユーザと Time-of-Day ルーティング

time-of-day ルーティングが設定されている場合、ユーザは特定の時間に特定の不在転送番号を設定できません。たとえば、ユーザの転送用コーリングサーチスペースに、Time-of-Day が設定されたパーティションがあり、そのパーティションで 08:00 ~ 17:00 (午後 5:00) の国際コールが許可されているとします。ユーザ A は、不在転送番号を国際番号に設定することを考えています。ユーザは 8:00 ~ 17:00 の時間帯だけこの番号を設定できます。なぜなら、その時間以外では、不在転送番号の検証に使用されるパーティションで国際番号が見つからないためです。

ユーザが不在転送の許可されている営業時間中に不在転送を設定し、営業時間外にコールを受信した場合、発信者には速いビジー トーンが聞こえます。

パーティションの設定に応じて、ユーザは、time-of-day ルーティングが設定されており、かつコールの時間中にアクティブでない一部のパーティション内の電話番号に到達できません。

また、ユーザは、コールの時間にアクティブでない time-of-day ルーティングが設定されているパーティション内のルート パターンおよびトランスレーション パターンに到達することもできません。



(注) ユーザは、電話機に適用されるパーティションおよび time-of-day 設定のため、電話機に不在転送を設定できないことがあります。ただし、その場合でも、管理者またはユーザは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページから電話機に不在転送オプションを設定できます。



(注) TOD 設定は、回線がハント リストに含まれている場合に有効になります。この設定は、そのハント リスト内の回線ではなく、ハントパイロットにだけ適用されます。

依存関係レコード

時間帯およびタイム スケジュールに関する特定の情報を検索するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [時間帯の設定 (Time Period Configuration)] ウィンドウおよび [スケジュールの設定 (Time Schedule Configuration)] ウィンドウにある [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [依存関係レコード] を選択します。依存関係レコードがシステムで有効にされていない場合は、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。

時間帯の依存関係レコード

時間帯の [依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウに、時間帯を使用しているタイム スケジュールに関する情報が表示されます。さらに詳細な情報を検索するには、レコードタイプをクリックして [依存関係レコード詳細 (Dependency Records Detail)] ウィンドウを表示します。

タイム スケジュールの依存関係レコード

タイム スケジュールの [依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウに、タイム スケジュールを使用しているパーティションに関する情報が表示されます。さらに詳細な情報を検索するには、レコードタイプをクリックして [依存関係レコード詳細 (Dependency Records Detail)] ウィンドウを表示します。

依存関係レコードの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「依存関係レコードへのアクセス」を参照してください。

参考情報

関連項目

- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「時間帯の設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「タイム スケジュールの設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「コーリングサーチスペースの設定」
- [パーティションおよびコーリングサーチスペース \(P.15-1\)](#)
- [ルートプランの概要 \(P.17-1\)](#)

参考資料

- Cisco Unified Communication ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン (SRND)